



同窓会長御挨拶



京二中鳥羽高校同窓会会長 山内 健也

昨年十一月より同窓会会長に就任いたしました、鳥羽高校一期生の山内健也と申します。これまで立派な仕事を残してこられた京二中卒業の大先輩方の後を受け、これから京二中卒業生から鳥羽高校卒業生へ同窓会を受け継ぐ役目に努めてまいります。とはいえ、未だ会長が引き継がれたというのみで、同窓会の組織は、京二中卒業生の先輩方に主たる役を担っていただいているのが現状です。本当の引き継ぎはこれからです。

皆様のご存じの通り、本校の歴史には三十五年の空白があり、その間の卒業生が不在であるため、世代の順に同窓会が受け継がれるという事は不可能でした。また、鳥羽一期生卒業から二十五年間、鳥羽高卒会員の同窓会への参加は、積極的ではなかったようです。私自身例外ではありません。そのため、京二中の先輩方には、同窓会が鳥羽高卒会員へ引き継がれるのを、今日までお待ちいただくことになり、他方鳥羽高卒会員にとっては仕事と家庭で忙しい世代で同窓会を受け継ぐことになりました。これからは成るものではないように思われます。

だからこそ、多くの同窓会会員が会へ関心を寄せ、能動的な参

加ができるよう手立てをする必要があるのだと思います。鳥羽高卒会員の中には一期生卒業から二十五年の間に連絡が届かなくなった方もあります。先ず具体的な取り組みとして、同窓会が会員全委員に呼びかけられるような手段をもつことでしょうか。部活動のOB・OG会、担任の先生方・友人を通じた人脈は、同窓会のことを伝える確かな情報網となりえます。また今では、携帯端末やPCを活用して会員側から同窓会の情報を取り、連絡を取る手段もあろうかと思えます。同窓会の連絡網が有効に機能して、同窓会組織にある学年幹事が、鳥羽卒会員についても実効性を持つことが、これから同窓会を受け継ぐための第一段階だと考えています。

多くの会員の皆様のご協力を頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

そして、内田名誉会長はじめ同窓会でお世話になっております京二中の先輩方には、今後ともご指導、ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、同窓会が、確かに鳥羽高卒の会員へ引き継がれることを、見届けていただきませう何卒お願い申し上げます。

卒業生のみなさんへ



京二中鳥羽高校同窓会副会長 奈佐 和也

就職、進学、その他色々な理由で京都を離れ関東方面へ生活の場を移される方も多くいます。そのような方たちを鳥羽高校という「縁」で繋げていく場として、「関東京二中鳥羽同窓会」を設けております。まだ大々的な活動には至っておりませんが、興味のある方は是非一報下さる。

HPのURL <http://knk2ctoba.blog135.fc2.com/>
 メールアドレス knk2c.toba@gmail.com

ご挨拶



京二中鳥羽高校同窓会顧問 須原 洋次

旧制京都第二中学校の歴史を継承すべく、この地に鳥羽高校が設立されて、二〇一三年秋に本校は三十周年（京都二中創立から一一三年）を迎えます。旧制中学からの歴史をもつ公立高校の多くが全面改築される中で、鳥羽高校は、京都二中の学舎を活用する耐震工事を進めています。鳥羽高校の誕生以来、旧制京都二中を卒業された方々は、京二中鳥羽高校同窓会を通じて、これまでに、孫のような年頃の鳥羽高校生徒及びその卒業生に、熱き想いでさまざまな御支援をさしのべていただきました。その結果、本校の生徒は、常日頃から、十代後半の漲るエネルギーをいかになく学習に部活動に傾注してきました。旧制京都二中の伝統を意識するとせざるとに関わらず、本校生徒たちが京都二中の校風と違わない実績を残してきたのは、当時と同じレンガ造りの校舎と平安京南縁に位置する羅城門や東寺の近傍という場所が醸し出す歴史的性格によるものであると感じられます。

生徒たちは、これまでのスポーツ競技力の実績に加えて、近年、和歌や茶道、華道にも取り組むようになり、文武に加えて和と雅の心を身に付けるようになりました。このような動きに、過日、同窓会前会長である内田昌一さんから、京都二中と鳥羽高校の校章を意匠に取り入れた五十個の清水焼茶道抹茶碗をご恵贈いただきました。この紙面をお借りして同窓会の皆様にご報告するとともに、厚く御礼申し上げます。

昨秋、山内健也さんが新しい同窓会長に就任されましたが、鳥羽高校卒業生としての初めての会長です。会長交代は、鳥羽高校の卒業生が京都二中ご卒業の皆様の御恩に報いる時代の到来を象徴していると感じられます。

時代の流れとともに、人は変わります。しかし、レンガ造りの校舎と質実剛健、文武両道の校風はこれからも変わりません。京二中鳥羽高校同窓会の皆様のますますのご発展を祈念申し上げますとともに、本校の教育活動に今後ともご理解ご支援いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

鳥羽高校 30 周年記念行事のお知らせ

鳥羽高校は、平成 25 年度に創立 30 周年を迎えます。これを記念して様々な記念事業を実施する計画です。

最も大きな行事として、10 月 31 日（木）に国立京都国際会館で記念講演を行います。また 11 月 3 日（祝）には、午後 6 時からホテルグランヴィアで記念祝賀会を開催し、鳥羽高校ゆかりの方々にお集まりいただく予定です。

例年 11 月 3 日に行われてきました同窓会総会は、記念祝賀会に先だって同じ場所で行われる予定です。

30 周年記念誌の発行や文化・スポーツ交流も行う予定です。これを契機として、同窓生がもっと交流し、同窓会に参加してくださることを期待します。

詳細は鳥羽高校 HP をご覧ください。

京二中鳥羽高校同窓会規約

第一章 総則

第一条 本会は、京二中鳥羽高校同窓会と称し、その本部を京都府立鳥羽高等学校内に置く。

第二条 本会は、会員相互の友誼を深め、母校の発展に貢献することを目的とする。

第二章 会員

第三条 本会は、下記の会員をもって構成する。

一 正会員

* 京都府立京都第二中学校卒業生

* 京都府立鳥羽高等学校全日制卒業生

二 特別会員
* 両校に在学した者で、会員の紹介により理事会が入会を承認した者

第四条 会員は、住所、氏名、その他名簿記載事項に変更のあった場合は、本会に通知しなければならない。

第三章 役員

第五条 本会に下記の役員を置き、任期は各二年とし、重任をさまたげないものとする。

一 名誉会長

会員の中から理事会の議を経て会長が推挙する。

二 会長

正会員の中から一名を理事

会が推挙し総会で選出する。

三 副会長

両校ごとの正会員の中から若干名を会長が指名する。

四 理事

両校ごとの正会員及び特別会員の中から若干名を、また、ほかに母校の現職員の特別会員の中から幹事会の推薦によって会長が委嘱する。

五 幹事

正会員の中から原則として卒業年度ごとに二名を選出する。

六 監事

正会員の中から二名を会長が指名する。

七 顧問

母校現職校長を推し、また、会員の中から会長が推挙する。

第六条 役員の仕事は次のとおりとする。

一 名誉会長及び顧問は、会務運営について必要な助言を与える。

二 会長は、本会を代表し会務を統括する。また、総会、理事会、幹事会を招集してその議長となる。

三 副会長は、会長を補佐し会長に事故ある時は代行する。

四 理事は、理事会に出席して

会務を協議、執行する。

理事のうち、会長の指名する若干名で本会の庶務会計に関する日常事務を担当する。

五 幹事は、その卒業年度の会員の連絡に当り、また、幹事会に出席し、理事会の決議に基づき会務を担当する。

六 監事は、会計に関する事項を監査する。

第四章 事業

第七条 本会は、その目的を達成するために、下記の事業を行う。

一 総会

毎年、京都市において開催する。必要のある場合、随時、臨時総会を開く。

二 理事会、幹事会
必要なきに開く。

三 理事会において適切と認められる事業。

第五章 会計

第八条 本会の経費は、会費、寄付金、事業収益金、財産収益金、その他をもって、これにあてる。

第九条 正会員は、卒業時に終身会費を納入する。その額は理事会において定める。

第十条 総会及び各種集会に要する経費は、そのつとこれを定め、原則として出席者から徴収す

る。

第十一条 本会の会計年度は、毎年四月一日に始まり、翌年三月三十一日に終わる。

第十二条 会計及び事業報告は、総会においてこれを行う。

第六章 支部

第十三条 会員の多数存在する地方に本会支部を設けることができる。

支部の設置及びその規約は、理事会の承認を得なければならない。

第十四条 支部は、その代表者より支部会員の名簿、役員の名簿並びに会務概況を本部に報告し、常に本部との連絡を保たなければならない。

第十五条 規約は、理事会の決議によってこれを変更することができるが、次の総会において、その承認を得なければならない。

一 役員の変更

二 規約の変更

三 会費の変更

第八章 附則

第十六条 昭和六十一年度卒業の正会員の終身会費は、三〇〇〇円とする。

第十七条 本規約は、昭和六十二年四月一日から実施する。

京二中鳥羽高校 同窓会役員名簿

役職	期	氏名	役職	期	氏名
顧問	京二中	須原 洋次	理事	京二中 46	山 寛
名誉会長	京二中 49	須内 昌	理事	京二中 47	高 博
会長	鳥羽 1	山内 健	理事	京二中 48	向 信
副会長	京二中 45	國九 和	理事	鳥羽 15	那 須
副会長	京二中 51	井條 道	理事	鳥羽 1	市 川
副会長	鳥羽 1	佐 和	理事	鳥羽 3	口 谷
副会長	鳥羽 3	乾 明	監事		藤 谷
副会長	鳥羽 5	岩 隆			

平成 24 年度卒業生 同窓会幹事紹介

1 組	田 雄	太 也	岡 千
2 組	西 翔	健 太	谷 優
3 組	内 東	川 友	吉 奈
4 組	西 片	又 貴	岡 貴
5 組	上 林	澤 裕	上 愛
6 組	◎ 上 林	澤 祐	村 上
7 組	◎ 岡 崇	原 奈	村 林
8 組	◎ 原 田	彩 音	西 田
9 組		頌 平	崎 菜

鳥羽高校硬式野球部選拔出場応援ありがとうございました!

平成24年3月27日、鳥羽高校硬式野球部は第84回選抜高校野球大会に近畿地区代表として出場しました。鳥羽高校にとっては11年ぶりの出場であり、同時に京都の公立高校にとっても11年ぶりのことでした。

同窓会の皆様には、多大な御支援を賜りましたことを御礼申し上げます。

1回戦で東北地区代表の聖光学院高校に2-0で破れましたが、みなさまの温かい応援を受け、鳥羽高生の本分を存分に発揮することができました。誠にありがとうございました。

今後とも鳥羽高校の部活動に対して御支援をお願いいたします。

鳥羽高校校長 須原 洋次



関東・京二中鳥羽同窓会の御紹介

京二中鳥羽高校の卒業生は関東でも強い絆で結ばれていて、毎年秋に東京で同窓会を開催しています。

昨年も11月17日(土) JR 東京駅八重洲口近くの「夢や京町しづく 八重洲店」に集まり、楽しいひとときを過ごしました。京都からも、山内健也同窓会長他役員や学校関係者など複数が参加しました。

詳細は「京二中鳥羽高校同窓会関東支部」のHPを御覧下さい。

HPのURL <http://kntk2ctoba.blog135.fc2.com/>
 メールアドレス knt.k2c.toba@gmail.com

鳥羽高校第一回
 優勝トロフィー作成
 思考力コンテスト



披講研究部
 国民文化祭オープニング
 フェスティバル出場
 冷泉流披講発表
 一文彦 作成



平成23年度・24年度の報告



・全国中等学校野球大会優勝旗が印刷されたクリアファイル作成



・水泳部水球全国制覇十回記念碑設置
 過去に全国優勝を遂げた時のメンバーと監督の名前が刻まれています。

京二中鳥羽高校同窓会

〒601-8449 京都市南区西九条大町1 TEL (075) 672-6788 FAX (075) 691-7448
<http://www.kyoto-be.ne.jp/toba-hs/> E-mail toba-hs@kyoto-be.ne.jp